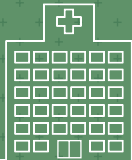


八鹿病院 ニュース



2012年
1月

公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします』



● yoka hospital「医療」

What's 放射線科?



- 新年のご挨拶
- 看護部だより「療養介護病床」
- TEAM八鹿病院「ケアプランセンター」
- 八鹿病院のクリスマス
- かかりつけ医へ通院中の患者さんへ

謹賀新年

本年もよろしく
お願いいたします



What's 放射線科?

私たち放射線科医が、みなさんと直接お会いする機会はそう多くはありません。じゃあ病院で何をしているのでしょうか？今回は私たちが普段行っていることを一部ですがご紹介します。

放射線科

こやま つかさ やまもと しゅういち
小山 司 山本修一

1 画像から病気を診断 『読影』

放射線科医は「読影」といって、診療放射線技師が撮影した画像（CTやMRIやシンチなど）を見て、病気の診断を行います。

「画像診断医」と呼ばれることもあり、画像診断の専門家として、院内に限らず開業医の先生からのご依頼でCTやMRIの読影も積極的にを行っています。

2 カテーテルなどを 使った治療『IVR』

IVRとは、インターベンシヨナル・ラジオロジー (Interventional Radiology) の略です。レントゲン

やCTなどの画像補助下に体内にカテーテルや針を入れて行う治療法で、患者さんへの負担が比較的少ないのが特徴です。

IVRの中でも代表的なものに、肝臓に対する経カテーテル的肝動脈塞栓術 (TACE) や閉塞性動脈硬化症に対する経皮的血管形成術 (PTA) などがあります。今回はPTAについてご紹介します。

3 癌の治療 『放射線治療』

放射線治療は手術、化学療法とともに癌治療の3本柱の一つです。癌の部分に放射線をあてて癌をやっつける治療法です。特徴は、機能が温存できる、化学療法など



『経皮的血管形成術 (PTA)』

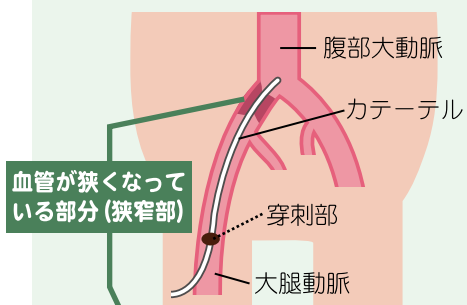
■血管が狭くなってしまふ「閉塞性動脈硬化症 (ASO)」

ASOは心筋梗塞や脳梗塞と同様の動脈硬化性疾患で、食生活の変化や高齢化に伴い増加がみられます。症状としては、下肢の動脈が動脈硬化で狭くなり、初期にはしばらく歩くとしびれやだるさで歩けなくなる(間欠性跛行)などがあります。進行すると、安静時でも足先の痛みや発赤、さらに重篤になると足の壊死が生じ、最重症では下肢を切断せざるを得ない場合もあります。



■狭くなった血管を拡張する「経皮的血管形成術 (PTA)」

PTAでは足や手の動脈に局所麻酔をし、カテーテル(管)を入れ、カテーテルの先端についたバルーン(風船)で、狭くなった動脈の部位を拡張したり、ステント(網状の金属の筒)を入れて拡張します。



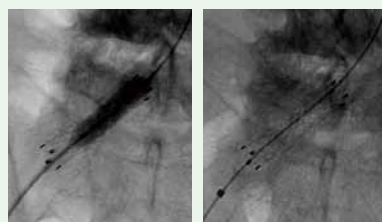
血管が狭くなっている部分(狭窄部)



治療前

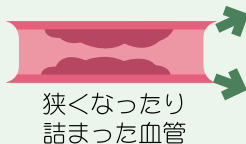
治療後

<ステント留置術>



バルーンによる
狭窄部の拡張

ステント
留置後

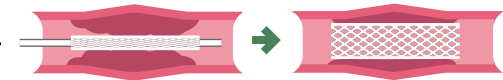


バルーン
拡張術



バルーンを膨らまして血管を拡張する

ステント
留置術



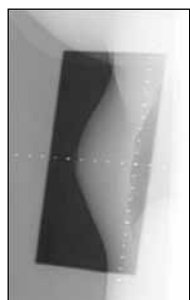
ステントを留置して血管を拡張する

術後、止血のために翌朝まで安静にしますが、翌朝からは歩行可能で、3日間程度の入院で退院できます。治療効果は部位にもよりますが、骨盤内の動脈に対しては治療後の5年間の開存率は8割以上と良好です。一方で大腿~膝の動脈では2-6割と低下します。

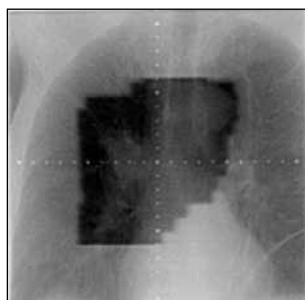
早期発見により良好な治療効果が期待できますが、そのためには手足の血圧を同時に測ることにより動脈硬化の度合いを測定できるABIという検査が有効です。最近はABIが測定可能な医院・病院も増えてきましたので、気になる症状があれば早めにABIの測定をおすすめします。

私たち放射線科医は、画像から病気を診断する「読影」・カテーテルなどを使って治療する「IVR」・癌治療に有用な「放射線治療」などを主な業務として、今後も地域医療に貢献していくつもりです。

<実際に放射線を照射した時の写真>
(リニアックグラフィー)



乳房温存術後の
乳房の照射



肺癌例

と併用することで治療成績の向上がはかれます。また、予防的に術後の再発の危険性を減らす、癌の骨転移などの痛みを和らげるなど、様々な特徴があります。当院でよく行われているものに、肺癌に対する化学療法との併用、乳房温存術後の放射線照射などがあります。



公立八鹿病院組合
管理者 **池口 寿彦**

明 けましておめでとござい
す。皆様方には、ご家族お
揃いで良い年をお迎えのことと心
からお喜びを申し上げます。また、
平素から病院組合運営には、温か
いご理解・ご支援を頂いておりまし
て深く感謝申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災、原
発事故、更には12号、13号台風な
ど未曾有の災害に見舞われた一年
でありました。私たちはこうして
無事新年を迎えておりますが、寒
空の下で今もご苦労されている多
くの方々がおられると思うと、い
つもの年のように素直には喜ばな
い心境です。

災害発生時に如何に機能するか
は、私たち公立病院に与えられた
大きな使命の一つです。八鹿病院
におきましても、日頃からこのこ
とを念頭に置き病院運営にあたっ
ておりまして、この度の震災に
あっても発生直後から石巻市の現
地に医療チームを派遣すると共に
平素より備蓄しています全ての災
害救援物資を提供したところです。

地域の安全、安心の確保に大き
な能力が発揮できますよう今後も
更に取り組んで参りたいと思いま
す。新しい年が災害のない穏やか
な佳い年でありますよう祈念し、
新年のご挨拶と致します。

八鹿病院では、近年の医師不足
で、地域の皆様にご迷惑をかけて
いますが、未だ十分な医師の確保
には至っており、以前より20数
名少ない30名余りの医師数で地域
における保健・医療・福祉に当たっ
ています。

今後とも、医師確保に努め、健
全経営と医療安全を心がけ、職員

皆様にとって希望あふれる一年になりますように

新
年
の
ご
あ
い
わ
せ



公立八鹿病院
院長 **宮野 陽介**

一同、良質な医療を皆様に提供す
るために頑張ります。皆様の温か
いご支援とご協力をよろしくお願
いします。





11月8日文化祭の様子。各病室に歌とハンドベル演奏をプレゼントしました！本人の作品展示で生活史にもアプローチ



豊かで広がりある療養生活を
目指し日々取り組んでいます

療養介護病床 (8病棟)

力をいれて取り組んでいます

◎患者さんに合わせた入院中の個別支援計画作成



本人、家族の要望を尊重し、個別の支援計画作成します。楽しい生活となるよう趣味や特技なども取り入れます。

◀音楽好きなAさんには音楽療法を中心とした生活支援を行っています

◎生活支援員の増員で福祉的サービスの充実へ



お花見・盆踊りなどの季節行事や誕生会を行っています。



天気の良い日は、院外散歩にも出かけます。



コミュニケーションの充実！！
優しい笑顔で、何のお話し？



発語のリハビリ中にも心地よさや安らぎを提供しています(足浴)

病床利用開始から、はや8ヶ月がたちました

当院療養介護病床では、医師・看護師・生活支援員・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーなどが、しっかりと連携を持ちながら、患者さんを支援させていただいております。
病床(20床)がオープンし、8ヶ月がたちました。療養生活に楽しみや生きがいを提供できるよう生活支援員を導入し、日々患者さんやご家族のニーズにお応えできるようスタッフ一同、一丸となって対応させていただいております。

療養介護病床とは

人工呼吸器で長期入院を余儀なくされている方や、重症の筋ジストロフィーの方など、身体の不自由な方に医療だけでなく、さまざまな福祉サービスを提供する病床です。

皆様からの声

(患者さんより)病院で誕生会をしてもらえるなんて、思ってもみなかったです。！嬉しい！
(ご家族より)四季折々の壁画・病室の飾りに心癒されます。毎月楽しみにしています！

【入院に関するお問い合わせ】 公立八鹿病院 地域医療課

自宅訪問の様子
一ヶ月に1回はご自宅を訪問し、
ご様子を伺います。



当院と一緒に地域の方々と
支える仲間を紹介！



公立八鹿病院

ケアプランセンター

(居宅介護支援事業所)

「介護保険の利用を考えたい！」
そんな時には、ご相談ください

介護保険制度の「要」となっているケアプランセンター。「住み慣れた地域で自分らしく生活していきたい」そんな利用者様の思いを受け止め、日々共に悩み考えているケアマネジャーの活動を紹介します。

八鹿病院では、「家で療養したい」「より元気に過ごしたい」「介護を支えてほしい」などの介護保険制度利用を希望されている方のために、ケアプランを作成する機関として、ケアプランセンター(居宅介護支援事業所)を設置しています。

ここでは、看護師・介護福祉士・認知症ケア専門士等の資格を持つ3名のケアマネジャーを配置しています。うち1名は、主任ケアマネジャーとして、様々な相談に応じています。

ケアマネジャーは、介護が必要となった方や、その家族に寄り添って、自分らしい生活を継続すること、少しでも介護が必要な状態を軽減したり、また悪化させないことを目指して活動しています。

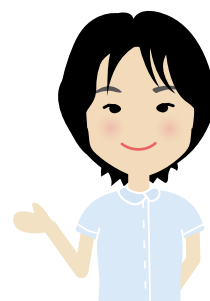
—特徴を生かして支援しています—

併設の八鹿病院・訪問看護センター・
老人保健施設とタイムリーな連携をとっています！

入院中から退院後の生活がスムーズに行えるよう、
各スタッフと相談しながら迅速に調整を行っています

ご本人・ご家族の希望に合わせ、
可能な限り自宅で過ごせるよう支援しています！

家での医療処置が多い方、重度の障害がある方も
担当させていただきます(病状不安定)



居宅介護支援事業所
主任ケアマネジャー
中田美和子



自宅訪問 6
ご自宅へ訪問し、状況の確認をしながら随時必要なサービスの見直しを行います



電話相談 1
介護に関わる相談、介護サービスの説明や申請方法などをわかりやすくお伝えします。



訪問相談 2
ご本人・ご家族の希望を取り入れながらその人らしい生活を送って頂けるよう適切なサービスを一緒に考えます

こんなふうに関わらせていただいています！
「密着！ケアマネジャー」



サービス担当者会議 5
ご本人・ご家族・サービス機関で目標やケア内容を確認します



ケアプランの作成 4
サービス利用の目的・目標を書面にします（ケアプランの作成）



サービス事業者との連絡・調整 3
ケアプラン作成のため、医師やサービス機関との連絡・調整を行います



取材時にご家族にもお話を伺いました

利用者様と各機関のかけはしとなって調整を行うケアマネジャー。絆の強さを感じました！

いつも本人・家族の味方になってくれます。いろいろな想いをサービス業者の方に代弁していただいていますので、ありがたいですね。（A様ご家族より）

小さなことでもヘルパーさんやかかりつけ医に連絡されていて対応がとても早い！みんなの軸となってきています。（B様ご家族より）

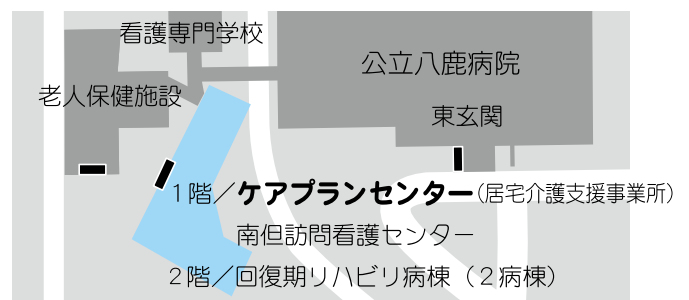


- もっとリハビリがしたい
- 退院後の生活に不安がある
- 安全に移動できるよう自宅を改修したい
- 介護について悩みがある
- 介護に疲れた など

お気軽にケアプランセンターまでご相談ください！
(公立八鹿病院地域医療課・各市町地域包括支援センターでもご相談いただけます)

公立八鹿病院ケアプランセンター
(居宅介護支援事業所)

〒667-8555
兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1
TEL. 079-662-5555 (内線 1800)



2011年 八鹿病院の **クリスマス**



▲八鹿高校音楽部のみなさん

12/13

第37回院内クリスマスコンサート

八鹿高校音楽部のみなさんや八鹿病院合唱団による合唱、当院スタッフによるバンド演奏をお楽しみいただきました。今年は手作りクリスマスカードをご来場の皆さんにプレゼントしました！



◀職員バンドの“ココカラ”



12/8~1/末

クリスマスイルミネーション

入院患者さんに癒しの光をプレゼント！
4~11病棟光庭にて点灯しました。

【点灯時間】
16時~21時



12/22 **病棟クリスマスコンサート**

八鹿病院合唱団から各病棟の入院患者さんへクリスマスソングをお届けしました。

かかりつけ医へ通院中の患者さんへ

**紹介状があれば
診断治療がスムーズに！**

経過が不明だと二重検査・
二重投薬の可能性あります

かかりつけ医へ通院中の患者さんが、体調の異常を訴えられた時は、直接当院へ来られる前に、**まず、かかりつけ医への受診**をお勧めします。

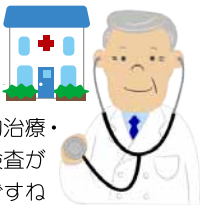
紹介状を持参していただくことで、**普段の患者さんの症状・検査の数値・薬の名前など多くの情報**が得られ、**診断治療**を円滑に行うことができます。

からだがおかしいぞ...



患者さん

かかりつけ医へ受診



専門的治療・
精密検査が必要ですね

かかりつけ医

紹介状

紹介状を持参し受診



八鹿病院

紹介状により
普段の情報がわかる

**スムーズな
診断治療が
可能!**

